

S topMotion11th

date:2012.03.11 14:46

place:Shibuya,Tokyo

twitter: @stopmotion11th

StopMotion11th@gmail.com

14:46から一分間、渋谷センター街で「止まる」。
それだけ。

震災関連の色がついたイベントが多い中、
このイベントの特色は「無色透明」。
意味づけは各自自由。

いくつかの、異なる時間軸が流れる島国で、
動くのではなく「止まる」体現はおもしろい。

参考動画を拝見。
色々、考えさせられています。
あちらは、どっきり、という趣旨なのでしょうか？
しかし、今、私の胸にあるのは、別のなにかのようです。

その自分の胸のうちの何かを探ることから、
すでに「1分間」が始まっているように思っています。

都内でもさまざまな運動が盛り上がりを見せる中、
自分には何も出来ることがないなあなんて思っていたのですが、
これくらいなら出来そう。

このイベントを聞いたとき、
脳裏に浮かんだのはテオ・アンゲロプロスの映画でした。

雪が降りしきる中、時間が止まったかのように停止している人間たち.....
そこに何を思うかは、各人の自由です。
しかしそのシーンはとにかく強烈に、鮮明に思い出されるのです。

そのようなイベントになれば、と思います。

参加します。
なんだかワクワク。

誰かに影響を与えるとかは特に考えていなくて、
自分のための小さなactionです。

都合の合う方一緒に行きましょう。

自分が立ち止まることで、
目をむけてくれる人がいるかもしれない。

そして自分自身もその時だけは、
あの瞬間にこころを向ける。

場所は東京なのでお近くの人、
3月11日をどう過ごそうか考え中の人は
参加してみてもいいかなと思います。

忘れないことって一番基本的だけどすごく大切なことですよ。

忘れがちになっている出来事を
もう一度思い出すために止まりに行きます。

ストップモーションって結構筋肉使いそうですね。
筋肉ないので心配ですが、1分間ふるえないようがんばります！

ちょうど一年。

でも人間は忘れっぽい生き物だから、
「ちょうど一年なんだ」って気付くために、街を1分止めてみる。

小学校の頃、通信簿に「落ち着きがない」と書かれたので、
1分間もじっとしていただけるか不安ですが・・・。

1年分の我慢強さを前借りしていきます。
がんばります！

企画の面では非常に良かった、
というか面白いな～と感じました。
それはツイッター上の反応などを見ても思います。

広報は少ないし、小さかった感覚ですが、
その割には反応があったかなと思いました。

慣性の法則では動いているものは動き続け、
止まっているものは止まり続ける。

「止まる」という行為はその意味で惰性に対する挑戦。
そしてそこからの発信も「見られる」ではなく「見せる」行為。
なんてことを考えてます。

3. 11のあらゆる事象が
意識からこぼれおちているかもしれない、
当事者ではない人々への小さなメッセージ。

このパフォーマンスが、そうしたものになることを願っています。

「わすれない」

善くも悪くも時間というものによって風化されていく記憶。

家でテレビを見ている訳でもなく
ラジオを聞いている訳でもなく
街を歩いている人達が『あれ？なんで？』
『あ、1年前のこの時だったんだ...。』

そう気付いてもらえたら。想いを巡らせてもらえたら。

単純に思えて難しい「わすれない」という
essentialを繋いでいく1 minutesになりますように。

実際に、1分間止まることをしてみると本当に意外と難しいですね。
果たして、人の行き交う街中で出来るのか？

私の中の表現者がウズウズドキドキしてきます。

私も参加します。実際311から何も出来てないので...。
少しでも想いが伝われば良いです。

#stopmotion11th

私の大好きなアーティストの1人、島袋道浩の作品にも、
「たちどまる」と書かれた看板作品がありました。

集まって意見を発して、というのもいいかもしれないけれど、

人の意見に流されるのではなく、
まず、それぞれが考えるきっかけをつくる、

そしてそこに、
誰もができるパフォーマンスという形で
実際の行動を伴うというのは大事なことだと思います。

年齢も性別も技術もいりません。

やろうと思えば、誰でもできること。
少しでも多くの方が参加できたらいいな。

渋谷センター街で大勢の人が1分間立ち止まる。

3月11日のあの時間。私は3歳児がいるのでご遠慮いたしますが。
1分間もじっとしてられないほうに100ペセタ。

#stopmotion11th

企画を聞いた時は、
イギリスのリバプール・ストリート駅で
大勢の人々が突然踊りだす企画を思い出しました。

人が一斉に立ち止まると周りの人はどんな反応をするのか、
何を思うのか、楽しみです。

今日、友達が渋谷で
stop motionという企画を主催するんで参加してきます。
来る人の主義、主張が違ってても参加できそうな企画だと思う。

今日は立ち止まって考えてみようよ。
っていうメッセージ性を勝手に感じ取ります。

参加者それぞれに物語がある。

その物語を持って、同じ場所で立ち止まる。

ばらばらな物語が集まる。
そしてすぐにまた散っていく。

集まることそれ自体よりも、
それぞれが持つ物語を再発見できる場になるのでは、と思います。

この日に立ち止まることは、
誰に、何が、どんな風に響くのか。

はたまた響かないのか。

それが大きくなるとどうなのか。
が知りたいから、やってみようと思っています

まだ迷うけど行きたい。

動けないけど止まることならできるかもしれないから。

大丈夫。

いつも止まっているようなもんだから。

Never felt this kind of powerlessness before.

It seemed like there's not a whole lot I can do.
Now I'm still groping for it.

The biggest fear for me is
that most of us have forgotten about it.

I wanna make some move before it totally slips my mind.

Feel much appreciation for my reliable fellows.
Maybe it's time to renew a sense of gratitude.

Think we need sustained action.

立ち止まって、
ゆっくり景色を眺めたり、過去を振り返ったり。

それからまた動き始める。
当たり前を味わう。

意義を考え過ぎず、楽しめたら嬉しいです。

大学卒業後5年程フリーターをやっていたので
立ち止まることには定評があります。

よろしくお願ひします。

311を忘れない、

そのためにも自分は何ができるのだろう・・・
そう思っている人も多いのではないのでしょうか。

アクションは色々な形があってもいいはずです。

あの日から丸一年。

復興庁も先日やっと発足しましたね。
ワンストップって実現するのかな。
何かのきっかけになるんですかね。

時間がたつにつれ、人ごとになってきてしまっているので・・・

とりあえず個人的な第一歩。
試しに足を止めに行きます。

なにもしないこと、を大勢でやるのかなと解釈している。

なにもしないことで、何か変わるのか。興味深いです。

参加させていただきます。

なにをするにせよ、少しでも意義のあることを明日はしたいです。
皆さんよろしくお願い致します。

#stopmotion11th

11日と誘われたとき、
恥ずかしながらすぐには何の日だかわからなかった。
渋谷で1分だけなら気軽に行けて嬉しいです。

まだ一年。もう一年。
変化もたくさんあったけど置いてきたものもそれなりに。

当日は立ち止まることで前に進みたい。

東京にいる人たちが、
こうやって考える機会を作ってくれるのはありがたい。

#stopmotion11th

一年間でどれだけ進めたのか、
3/11に一度、立ち止まってみることで確認してみたいです。

一分間の後、どうやって動き出そうか今からわくわくです。

様々な目的を持った人が
強い意志を持たずとも参加できるハードルの低さが
このパフォーマンスの売りだと思えます。

被災はしていないけど東北出身です。
同じ東北出身として、今まで何も出来なかったけど、
ずっともどかしくて。

でも今日、
気持ちだけでもこうして表せてすごく気持ちがよかったです。

アクションに関わって、
1年前の今日を強く意識することができました。

このアクションが広まり、何かのきっかけになれば嬉しいです。
また参加させて下さい。

1分間

短いようで周りをキョロキョロしながら止まっていたので
すごく長く感じました。

世間の人々は、2時46分になって
会話をしながら歩いているだけに見えた。

誰かが行動を起こしてくれないとこうした動きにならないから、
本当に参加できてよかった。

企画を運営して下さっている方々にまず感謝を。

お若い方達がこんなに真面目に考えて下さっているのを
間近に知ることが出来ましたのも、今は特に大きな種です。

1分間の前に街をゆっくり見て時間を待っていた時に、
こんなにつぶさに渋谷の街を見た事がなかった事に気づいて、

その事に、こみあげてくる感慨をかみしめながら
「1分間」すごしました。

ぶるぶる震える足で体を支えながら、
まわりの様子を眺めて過ごした1分間。

いつもとなにも変わらないはずの渋谷の風景が、
今日は全く違う風景に見えました。

1年の節目に1分、足を止めることができなかつたら、
もうこれから先何も出来ない気がした。

私にとっては、大切な1分になりました。

また忘れてしまいうだろうから、また次回も参加します

今日はデモのあと参加しました。

3.11の14:46に渋谷で
100人が止まるというパフォーマンスです。

これは3.11を楽しむなみたいな批判もあったそう。

僕が企画聞いて思ったのは、渋谷にいる人(主に若者)は、
さすがに3.11は覚えてるだろうけど、14:46は忘れてそう。

忘れていたならば考えるきっかけになれるのならば。
と思い参加しました。

参加したStop Motion.

太陽を見つめ大事な人たちの名前を呼び続けました。
去年の長く恐ろしく感じた一分間と今日の一分間のパフォーマンス。
まだまだ、何も終わっちゃいない、これからだと感じました。

私は、去年と同じようにギターを背負い渋谷にいました。

頑張るよ。
今日、会えた皆様に感謝。

流れに乗ることも、さからうことも、
動き続けることも、周りを見渡すことも、
常に当たり前に行う動き。

それをやめて立ち止まってみることは、
ある意味とても勇気がいることだと思った。

参加してみてよかったです。
ありがとうございました。

14:46の渋谷は
スクランブル交差点で大型ビジョンが消えたそうですが、
僕のいたセンター街はいつもの日曜日でした。

参加者が止まると
通行人の若者が「3月11日だからじゃない？」と。

この企画の意味はあったと思いました。

311の地震を忘れないためにも企画は意味があり、
これから何年も続けて行くと素晴らしいものになると思いました。

#stopmotion11th

終了です。
場所が中心から離れてしまったのが無念。
参加者の方おつかれさまでした。

1分間が長いか短いか、
その感じ方は人それぞれだと思います。

僕は長く感じました。
立ち止まり、1つの視点を持ち続けること。

周りの視点が気になるし、
ジャマになっていないか心配だった。

脱原発デモやボランティアはハードルが高くて
参加できなかった私ですが、参加できてよかったです。

これからも継続すべきパフォーマンスだと思います。
今度は5分でやってみたい。

1分間はあっという間に過ぎました。
だけど僕らは時間を止めました。

#stopmotion11th

去年とは全く違う渋谷。
止まることで感じた、地面の感触。

時間を肌身に感じた。

Don't forget 3.11 14:46

Go forward 3.11 14:47

なかなか勝手がつかめず動いてしまいました。
でも面白かったです。

もったきちとできなかつたことが悔やまれる...
また次回があれば参加させていただきたいです。

色々、まだ考えたいことで立ち尽くしている一方、
薄ぼんやりとしているままで
やり過ごしてしまいそうな情けない思いもありつつ、
それでも胸をはるべきだという気もありつつの夜です。

長かったようなあつという間だったような、
この一年をしみじみ振り返りながら立ち止まりました。

復興にはまだまだ長い時間がかかると思うけれど、
早くみんなが心から笑える日が来ますように・・・

東日本大震災とパフォーマンス。
もう少しひらけた場所で行ってはどうでしょう。

視線が下を向いていたので、
実際やっている時には周りを把握する余裕がなかった。

でもあの時間、
こうして行動を起こせたことはとても良かったし、
私自身にも残っていくことだと思います。

続いていくこと、
続けていくことを忘れないでいきたい。

去年の3月11日、14:46。

一人狭い部屋にいて初めて本気で死を実感した瞬間。
“永遠”のように長い時間を感じた。

きょうstopmotionをみて、
その時の“時が止まる瞬間”を思い出しました。

ありがとうございました。

3月11日の14:46でも、渋谷は「いつもの街」でした。

何か考えるきっかけを与えられたらと思います。

わたしはあくまで「知りたい」という利己的な参加者でした、

パフォーマーという括りが窮屈なほど
色々な考えを持った方々が思い思いの停止の体現をする、
その個人性が魅力だと思いました、

また体験し体験される相互関係が
路上で通行者と確かにあったように思われます

自分の日常を当たり前に大事にする事なしに
誰かのために行動しても、どこか虚しいなと思いました。

#stopmotion11th

立ち止まり、緊張しました。

はずかしくて堂々と立ち止まれなかったけど、
何もしないよりも行動できてよかったと思いました。

一般人でも何かやろうと思えばできるんですね。

震災1年後の3.11、

渋谷は普段通りの日曜日でしたが、
ストップモーションが起こると
「3月11日だからじゃない？」
という女の子の声が聞こえてきました。

3.11を気づかせるきっかけとなれたことで
このパフォーマンスの意義を感じました。

渋谷で1分間立ち止まる。

このパフォーマンスに参加する理由は人それぞれだったと思う。

3. 11を忘れないため。
もう震災のことを思い出すことの少ない人たちに思い出してもらうため。
自分にできることを考える上での初めの一步。

ただ単に、面白そうだからという理由もあるだろう。

被災地のために何かしようと思っても、日常に追われ、
自分や自分の身近な人たちのことで手一杯になってしまう首都圏の私。

そんな私が、3. 11以前と以降で変わったこと、
それは、「もう子どもを産もうなんて思えなくなった」
いかにもペシミストだ。

でも、福島第一原子力発電所の事故で、
もう今では、汚染水は保管場所がないくらい。
いつ廃炉にできるかもわからない。

それだけではなくて、世界的にも環境汚染が進み、
もう日本の借金も国民の総資産を超えそう。
社会保障も立ち行かなくなるかもしれない。

ついつい悲観的になってしまう。

けれども、国が悪いとか政治が悪いとか言っている人を見ると腹が立つ。
自分は何かやっているのかと聞きたくなり、
そして自分に問い返す。

「そうだ、社会がどうだって、周りの環境がどうだって、
自分の人生はとことん納得のいくようにやってやろう。」

周りの状況で人生プランが行き詰るような場所に、
被災者でない私たちはおそらく住んでいないだろう。

結局、震災前と大して変わらない。

結局、人のために何かするといってもなかなか難しい。

本当に頑張れるのは、
自分や自分の大切な人のためだけ。
なんだかなあ。

でも、うまくいかないことを
社会とか環境のせいにするのだけは
しないようにしたい。

1分間立ち止まるというのは、結構難しいものですね。

これを機に、いろいろと深く考えることが出来るような気がします。
短い時間でしたが、参加できてよかったです。

まだここにいる人々も3月のことを覚えている。
だがこれから先、私たちはどんどん忘れていく。

無色透明が集い、足を止めること。

細々とでも続けて行くことができれば、
いつか意味になるのかもしれない。

止まれるか不安だったけど、意外と1分って短かったです。

アイスクリームにチャレンジしたので、
口が冷たかったのと手がべとべとになりました。

あれから少し時間が経ってしまったので思い出しながら書いている。

自分の頭の中の予定に、
「1ヶ月後に、渋谷で立ち止まる」
がある状態というのも珍しいことだ。

私はその後お茶を飲む約束で、友人と2人でその場所へ近づいた。

立ち止まること自体は非常に個人的な体験だ。

「笛の音」が合図とのことで、
音が聞こえる場所にいないとは思いつ徘徊。
笛が気になってしかたない。

そしてまさかここで、という中途半端な所で、その笛は鳴る。
不自然に立ち止まる。

その不自然さは周りの人にも何となく妙に感じられたのか、
「なんだろうね、地震の何かじゃない？」というような声も聞こえた。

その不安定な体勢でもって、気持ちもそのようにぼんやりと、
主に1年前のことに意識を向けていった。

意識が完全に向いてしまうには短い時間。
故にそれ自体はあまり意味を持たない時間であったかもしれない。

2度目の笛がなり、私は再び歩き始めた。

終わった後で、あれはどういうことだったんだろう、と友人と話した。

それから少しして、
あのほとんど空白な時間をこれからの何が満たすのか、
また満たされないのか。
そういうことなのではないかと思えた。

辛いことは続かない、という主催者の言葉が印象的でした。
個人的に今度、東北に旅行に行きたいと思います

この年、私は演劇作品の取材と上演のため、
2度ほど福島駅周辺に滞在することとなる。

福島に来て、自分の経験として印象的だったことは、
店で特産の魚や野菜を食べるとき、やはり不安はあるのに、
当たり前のごとくにそれを振り払い、食べる瞬間があったことだ。

そして、ここに住んでいる人が食べているのだから大丈夫だろう、
というその場での相対的な考えが浮かんでいたことを、
認めなければならない。

そしてそれはとても美味しかったのだった。

また、移住を余儀なくされ県内の仮設に住んでいる人の
「東京に住んでいる人が、
ここ(東京)も危ないと言っていることに対して、違和感を感じる」
というような思いを耳にした。

これを聞いて私は、
先の食事に対する自分の考えにも似た相対性を思い起こした。

このようなある種相対的な感覚は自然なことだと思う一方で、
何か違うやり方もあるはずとは感じながらも、

大勢がうまく一つの判断をするには、
ある愛に基づく絶対性
(それは情報だったり、価値だったり色々な)が足りていない、
または相容れないのだった。

飛び入りかつ何気なく参加しちゃったけど、
「忘れかけてた何か」に気づけたと思う。

こういうのっていいね。

どう足掻いても当事者にはなりきれない。
それを知りながらも、どこか切望している。

もやもやしていても、動く術をもたない。
私以外にも、そういう人はいるだろうか。

ここで立ち止まることは、
現状維持のそれとは異なるものだとも思う。

新しい「ひとつの選択肢」になることのできる可能性を、
このイベントは秘めているのだと思う。

私たちは今、
二人以上の人間と同時に手をつなぎ、
世界を飛び回ることができる時代に生きている。

だが、実際に足を動かす、
このことの尊さは決して失われてはいないのだと、
日々実感している。

無色透明は、いい色かもしれない。

to be continued.

#stopmotion11th

S topMotion11th

date:2012.03.11 14:46

place:Shibuya,Tokyo

twitter: @stopmotion11th

StopMotion11th@gmail.com